

令和元年度「諏訪湖の日」の制定に係る取組について

「諏訪湖の日」制定の検討ワーキンググループ

◆今年度の取組について

1 「諏訪湖の日」決定

第3回諏訪湖創生ビジョン推進会議にて、以下のとおり「諏訪湖の日」を制定する方向で了承された。

【概要】

○日時	令和元年5月27日(月) 14:40~16:30
○場所	諏訪合同庁舎 講堂
○参加者	諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員ほか、約90名 (うち構成員80名、一般10名)
○決定事項	ワーキンググループを代表して横山 真さんから提案説明 結論として「諏訪湖の日」を制定するという こと で進めることとし、 <u>構成員の意見を聞きながら、進め方をWGで検討していくこととする。</u>

2 推進会議後の対応状況

相手方	対応	結果
構成員	① 取組の具体的な内容・方法について意見照会(6/7ㄨ切)	3件意見あり
	② WGメンバーの追加募集(〃)	希望なし

3 ワーキンググループ開催状況

開催期日	主な協議事項
第6回 令和元年 6月12日(火)	<p>構成員からの意見を踏まえ、以下のとおり協議した。</p> <p>◆今年度の取組の目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず「諏訪湖の日」を知ってもらうことを目指す。 ・長い目で「諏訪湖の日」の取組を後世へのレガシーとして残していく。等 <p>◆具体的な取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画ありきでなく、諏訪湖を愛し、諏訪湖に寄り添う各団体・個人等の自然発生的な取組が集まって諏訪湖創生に向けた大きな動きになることを目指す。等 <p>◆キックオフイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首長に取組に対する理解を深めてもらう必要がある。 ・LCVなどの協力を得ながら、映像で伝えたらどうか。 ・10月1日に何かできないか。等
第7回 8月6日(火)	<p>キックオフイベントに向け以下のとおり協議した。</p> <p>◆ワーキンググループ代表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表は横山 真さんに決定。→「諏訪湖の日」宣言をお願いします。 <p>◆キックオフイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイエの展示(カヌー、ヨット、サイクリングスタンド 等) ・「諏訪湖の日」の制定の趣旨映像撮影

第8回 令和2年 2月28日(金)	以下について協議した。 ◆今年度の取組に対する感想・意見 ◆来年度以降の「諏訪湖の日」のあり方について ◆「諏訪湖の日」制定の検討ワーキンググループの今後について
-------------------------	--

4 令和元年度「諏訪湖の日」に係る主な取組まとめ

期日	取組	結果
6月24日以降～ 7月24日	◆「諏訪湖の日」関連イベント及び協賛広告の公募 ・プレスリリース ・構成員、美しい環境づくり県民会議会員等への通知 ・ホームページ等で周知	関連イベント 計20件参加
8月31日 9月8日	◆「諏訪湖の日」PR新聞広告及び特集記事掲載 ・長野日報(8月31日(土)) ・市民新聞(9月8日(日))	協賛広告 長野日報 24社 市民新聞 10社
9月23日 (月・祝)	◆「諏訪湖の日」制定記念イベントの開催 場 所：ホテル紅や ルビーホール 内 容：横山代表等による「諏訪湖の日」宣言・記念撮影 ロゴマークお披露目・表彰 構成員の取組発表 制定の趣旨映像放送 佐田詠夢さんミニコンサート 等	参加者 構成員・一般 約250名 感想は別添アンケート のとおり
概ね9月～ 10月	◆「諏訪湖の日」関連イベント実施(20件) (主なイベント) ・9月22日(日)諏訪湖一周ウォーク ・10月5日(土)諏訪湖まるまるごみ調査 ・10月20日(日)一斉清掃 ・10月27日(日)諏訪湖マラソン 等	ホームページ 諏訪湖の日チラシ 新聞広報 等で一体的にPR
その他	◆メディア関係 ・10月1日テレビ信州「ゆうがた Get!」諏訪湖から中継 沖野会長出演、初島のろし、湖畔でのコンサート等放送 諏訪湖の名物(ワカサギ)等紹介。 ・その他、各民放各社ニュースにて報道 ・LCV ホームページにて諏訪湖に関する動画を集めた「諏訪湖の日」特集を掲載 ・FM長野「しあわせ信州ナビゲーション」LCVFM「諏訪湖ラジオランチ」テレビ信州「Fresh」等でPR	

5 「諏訪湖の日」に係る今後の方向性

◆来年度以降の「諏訪湖の日」のあり方について

ワーキンググループでの主な意見

- ・キックオフイベントが盛大に開催でき、参加者アンケートも好評で、マスコミの注目も高かった。
- ・キックオフイベントでは、音楽を絡ませて、普段諏訪湖に関心のない地域住民の参加を促したのはよかった。
- ・周知期間が短かったものの、関連イベントも多くの主体からの参加を得られた。
- ・「諏訪湖の日」の制定により諏訪湖に対する人々の関心を一定程度高めることができたと考えられるため、来年度以降も着実に取組を進めていくべき。
- ・将来を担う若年層の参加促進や、地域全体に取組をどう広げていくかが今後の課題。

- ・来年度は関連イベント募集を早めに行ったほうがよい。

結論

- ・住民等の諏訪湖に対する関心を高める目的には一定の効果があったと考えられるため、来年度も「諏訪湖の日」に係る取組を継続する。
- ・各団体ができる範囲で取り組みながら、「諏訪湖の日」を核に、諏訪湖創生の大きな動きを生み出すという制定に当たってのスタンスを踏まえ、構成員及びそれ以外の団体、特に若年層の協力が得られるよう幅広く声をかけていく。

◆「諏訪湖の日」制定の検討ワーキンググループの今後について

ワーキンググループでの主な意見

- ・議論を重ね「諏訪湖の日」を制定したことから、このワーキンググループの所期の目的は達成できたと考えられる。
- ・事務局(諏訪地域振興局)では、構成員として来年度も、今年度と同様関連イベントの募集や協賛広告の募集など、「諏訪湖の日」の普及に向けて取組を進めていく。
- ・今後はどこかが主導ではなく、構成員同士の横の連携を図っていくことが必要。
- ・今回は初年度ということもあり、まず一步踏み出してみることから始めたが、今後課題を踏まえ情報共有や連携を進めていく場が少なくとも数年は必要。
- ・ワーキンググループにこだわらず、緩くつながりながら情報共有する連絡部会等にしたらどうか。
- ・何かやりたいと考えている若年層にも来てもらい相談を受ける場にすることも考えられる。
- ・メンバーは固定せず、幅広く呼び掛けたらどうか。諏訪湖で各団体が何をやっているか意外と知らない部分が多い。
- ・今後もさらに幅広い協力を構成員や地域住民に呼びかけていく必要がある。

結論

- ・所期の目的を達成したことから、「諏訪湖の日」制定の検討ワーキンググループは発展的に解散とする。
- ・今後は、「諏訪湖の日」をさらに地域全体で盛り上げていくため、構成員やそれ以外に関心がある者が自由に参加し、情報共有や横の連携を深める「諏訪湖の日連絡会議(仮称)」を開催していく。

6 構成員への依頼事項

- ・「諏訪湖の日」に係る関連イベント及び協賛広告等の募集は、令和2年度早いうちに開始する予定です。可能な範囲で、既存のイベントを9月~10月に実施し、「諏訪湖の日」関連イベントとするなど、ご参加及びご協力をお願いします。
- ・「諏訪湖の日」の盛り上げのため、イベントのみならず、「諏訪湖の日」にちなんだメニューの販売など飲食店等や、小・中・高校などからの幅広い協力を得たいので、お声がけをお願いします。
- ・新年度には「諏訪湖の日」に係る連絡会議を開催する予定です。全構成員にご連絡を申し上げますので、ご参加をお願いします。また、構成員以外でも「諏訪湖の日」の盛り上げにご協力、又は関心がある方はどなたでも参加可能ですので、併せてお声がけをお願いします。